

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度			
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	01 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	17 情報通信
事務事業名			04 ネットワーク維持業務
根拠法令・例規等			
問 担当課(室)			企画課
合 職・氏名			係長 野道徹也
先 電 話			64-1812
このシート作成に要した時間			2.0 時間

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市の情報ネットワークを利用したサービスを受ける市民や、ネットワークを利用する児童、生徒(狭義的には市役所、学校等)。
目 的 (何のために)	備前市情報ネットワーク(市内の行政施設や学校を光ファイバー又はADSLフレッツグループで接続した公共ネットワーク)の安定稼働の堅持。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	情報ネットワークの安定稼働。

事業の実績			
目的を達成するために実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	通信運搬 プロバイダ・フレッツグループ	情報ネットワークをインターネットに接続するためのプロバイダ料金及びADSLフレッツグループ使用料	
	光ファイバ保険	情報ネットワークの光ファイバ保険料	
	目設線保守業務	情報ネットワークの光ファイバを常時安定稼働させるための保守業務	
	光ファイバ電柱共架料等	情報ネットワークの光ファイバを、電力柱等の電柱に共架しているため、毎年共架料を支払う。	

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
決算額	直接事業費		13,607	12,954	11,377	
	必要人員(人件費)	千円	0.04人	357	0.05人	325
	事業費計		13,964	13,311	11,702	
	国県支出金					
	受益者負担		75	75	75	
	繰入金	千円				
その他()						
一般財源		13,889	13,236	11,627		
受益者負担比率	%	0.5%	0.6%	0.6%		
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績	
ネットワーク異常停止件数	説明		市情報ネットワークの異常停止の発生件数			
結果指標量	事業		0	0	0	
対前年比	%		-	-	-	
活動コスト						
単位当たりコスト	円		#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
トラブル発生回数	目標値(A)	0	0	0	0
	実績値(B)	1	0	0	到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
成果指標設定の考え方・式や説明					
情報ネットワークでのトラブル発生回数(ネットワーク全体規模の異常停止回数。島ハブのトラブルのような小さなものを除く)。					

事務事業の評価				
妥当性の評価	市との関与の妥当性の必要性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 <A-E> A	
	効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託会)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A-E> B
		目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A-E> B

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	市情報ネットワークの安定稼働のため、前年どりの事業を行っている。事業費については共同保守負担金の見直しにより削減できている。					

総合評価	
行政運営上、ネットワークの安定稼働は市行政(職員ポータル・財務会計等)や学校運営に欠かせない基盤である。基幹業務にも影響を及ぼすため、安定稼働の堅持は最優先されるべきものである。	評価区分 <A-E> A

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	市情報ネットワークの安定稼働のため、23年度も同様の事業を行っていく必要があり、事業費については削減に努めていく。					

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい

留意事項
事業の目的やその効果の数値目標を定めること、結果指標

